

〈にっしん〉

2017年9月仮決算から

We will make a fresh step everyday.



彫画:伊藤 太一



日新信用金庫

The Nisshin shinkin bank

ごあいさつ

平素は日新信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、心より厚くお礼申し上げます。
日本国内の景気は、好調な世界経済や雇用の改善を背景に拡大が続いています。
機械などの輸出や生産は拡大し、設備投資も活発になっています。また、個人消費
についても、堅調な企業収益を背景に緩やかな回復傾向にあります。

しかしながら、地域の中小企業においては、人手不足に伴う人件費や材料費の
高騰を販売価格に転嫁することが難しく、収益面では依然として厳しい状況が
続いています。

そうした中、当庫の平成29年9月末の預金残高は7,228億円、貸出金残高は
3,355億円となりました。低金利環境が続くなかであっても、おかげさまで当期
純利益は626百万円を計上することができました。また、経営の健全性を示す自己
資本比率は10.42%と十分な水準にあります。

仮決算の概況を次ページ以降にグラフを用いて分かりやすくまとめてみました
ので、ご一読いただければ幸甚でございます。

平成29年度は、中期3カ年事業計画「つなぐ力～地域と共に繁栄する信用金庫を
目指して～」の最終年であります。

この4月には「ソリューション事業室」を立ち上げ、創業支援、成長支援、経営改善
支援、事業承継支援などライフステージに応じて発生する課題について、さらに
きめ細かな支援に取り組んでいます。

これからも引き続き「お客様第一主義」の方針を徹底し、多様化する地域のニーズ
に対して、より質の高い金融サービスの提供に務め、「お役に立ち、信頼される
信用金庫」として地域活性化に全力をあげて取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年 11 月

絆（地域とともに持続的發展を）

- 当金庫は、ヴィッセル神戸を応援しています。



平成24年から毎年ヴィッセル神戸サッカークリニックを開催しています。

- 地域行事等へ積極的に参加しています。

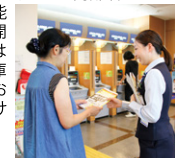


大久保支店 (H29.8)

緑が丘支店 (H29.8)

お客さまの安心・安全のための取組み

- 高齢者のキャッシュカード振込機能の一部制限の開始及び広報活動
選付金等振込詐欺などATMを悪用した詐欺被害を防止するため、8月21日より「高齢者のキャッシュカード振込機能の一部利用制限」を開始しています。当日は本店営業部で当金庫職員と警察官によるお客さまへの呼びかけを行いました。
(H29.8)



- 新入職員による心肺蘇生法（胸骨圧迫・人工呼吸）とAED（電気ショック）の使用法の講習会
明石市消防本部様による市民救命士講習会を実施、心肺蘇生法やAEDの取扱いなど、応急措置について指導を受け、新入職員29名が市民救命士に認定されました。



平成29年度
新入職員 (H29.9)

- 振り込み詐欺による被害を未然に防止しました。

兵庫警察署からの表彰式



兵庫支店 (H29.10)

地域貢献活動

- 【明石市子育ておうえん定期預金】

募集残高の0.01%相当額を「明石市子ども基金」へ寄付し、「子ども夢文庫」の運営に活用していただきます。

(明石市内の10店舗)
取扱期間：
平成29年4月17日～
平成29年11月30日



- 【神戸市子育ておうえん定期預金】

募集残高の0.01%相当額を神戸市へ寄付し総合児童センター「こべっこランド」等の運営に活用していただきます。

(神戸市内の17店舗)
取扱期間：
平成29年4月17日～
平成29年11月30日



- 【子育て応援定期積金 夢すくすく】

対象：18歳以下のお子さまがおられ、親権者としてお子さまの定期積金をご契約される個人のお客さま。
取扱期間：平成29年
4月3日～平成30年3月30日

【キャラクター通帳の取扱開始】

普通預金通帳 スーパー積金通帳

取扱開始日：平成29年9月11日



『にっしん輝きメッセ2017』を開催しました！

- 国際フロンティア産業メッセ2017の会場内で、「にっしん輝きメッセ2017」を開催し、当金庫を含む21社（23ブース）が出展しました。大勢の方にお越しいただき、盛会となりました。



(9月7日、8日の2日間にわたり、神戸国際展示場（ポートアイランド）で開催)

店舗

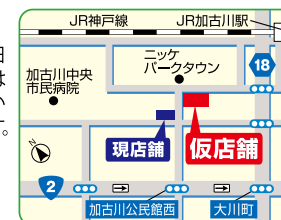
- 魚崎支店

平成29年7月24日
魚崎支店新築開設

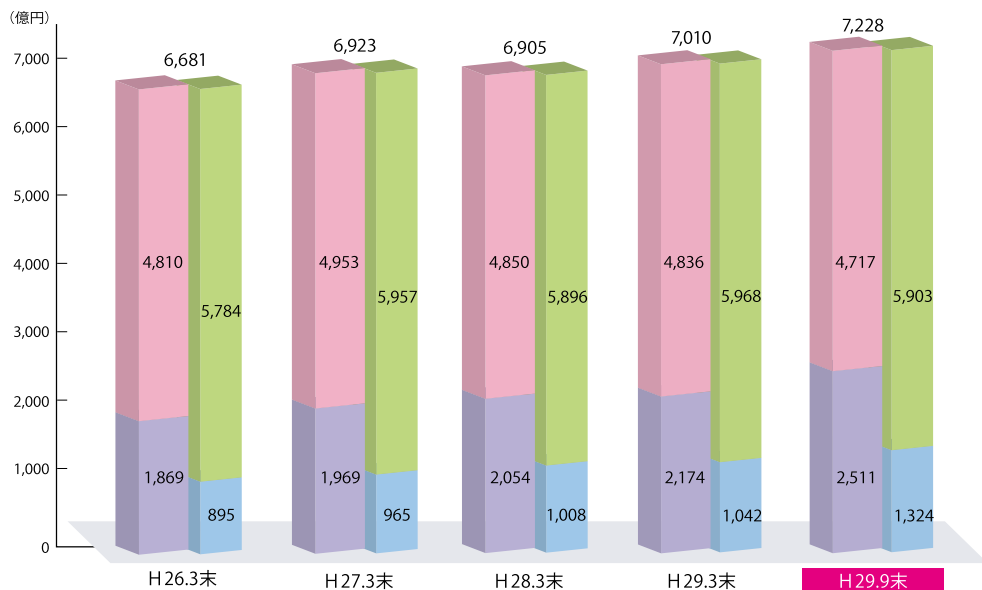


- 加古川支店

平成29年12月11日
より加古川支店は
現地建替えに伴い
仮店舗で営業します。



〈預金〉



【預金】

預金は平成29年3月末比217億円増加し7,228億円となりました。毎年3月末は、地方公共団体等の預金が一旦引き出されることから、実質の増加額は61億円となります。

定期性預金および個人預金は、金利が低利で推移しているなか、お客さまのご期待に沿えることができなかったことから、大きく減少することとなりました。

一方、流動性預金および法人預金は多くの新しいお客さまが増えたこともあり、大きく増加しております。

低金利の状況下ではありますが、なお一層工夫をこらし、皆様に喜んでいただけるサービスの提供に努めてまいります。

【貸出金】

貸出金は平成29年3月末対比126億円増加の3,355億円となりました。運転資金、設備資金、保証協会保証付貸出も順調に増加しています。

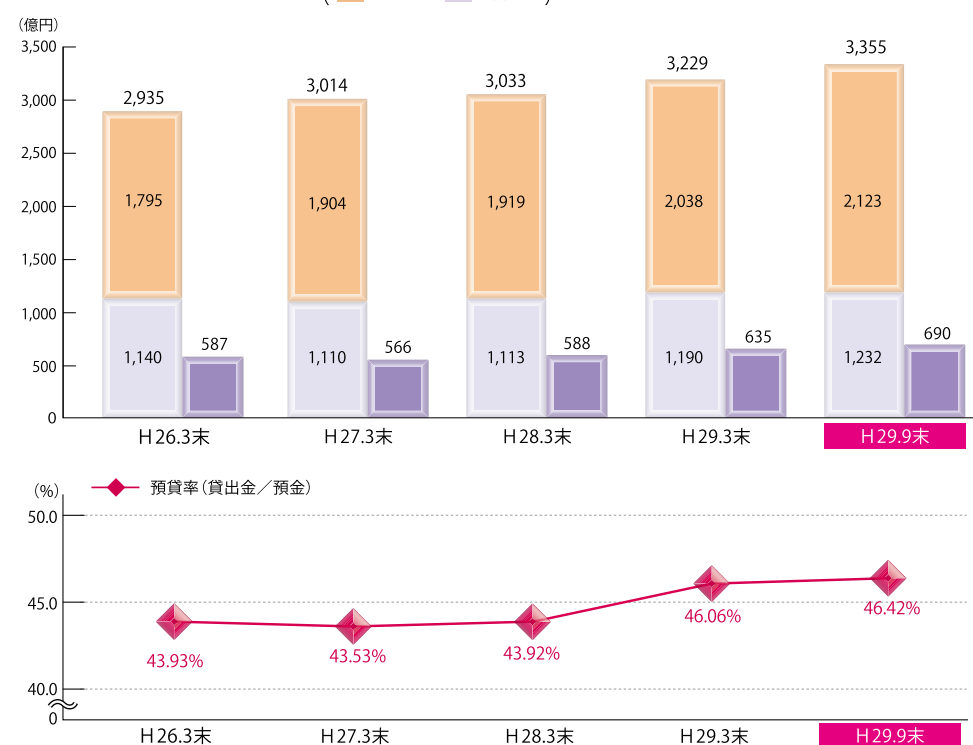
これからも身近な金融機関として、地域の皆様のお役に立てるよう、的確で迅速な資金の提供に努めてまいります。

【業種別構成比】

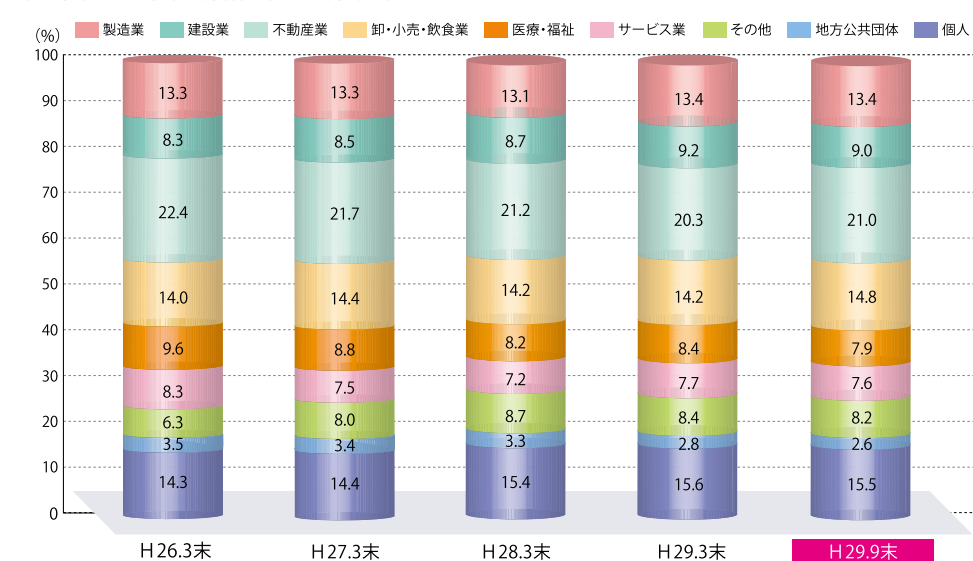
業種別貸出金構成比をみると、平成29年3月末比、不動産業、卸・小売・飲食業で増加が見られる一方、医療・福祉業、建設業は減少しています。

個人向け貸出金は、住宅ローンを中心とした営業活動の強化により、ここ数年順調に推移してきております。今後もお客様のライフスタイルに沿った商品をご提供できるよう努めてまいります。

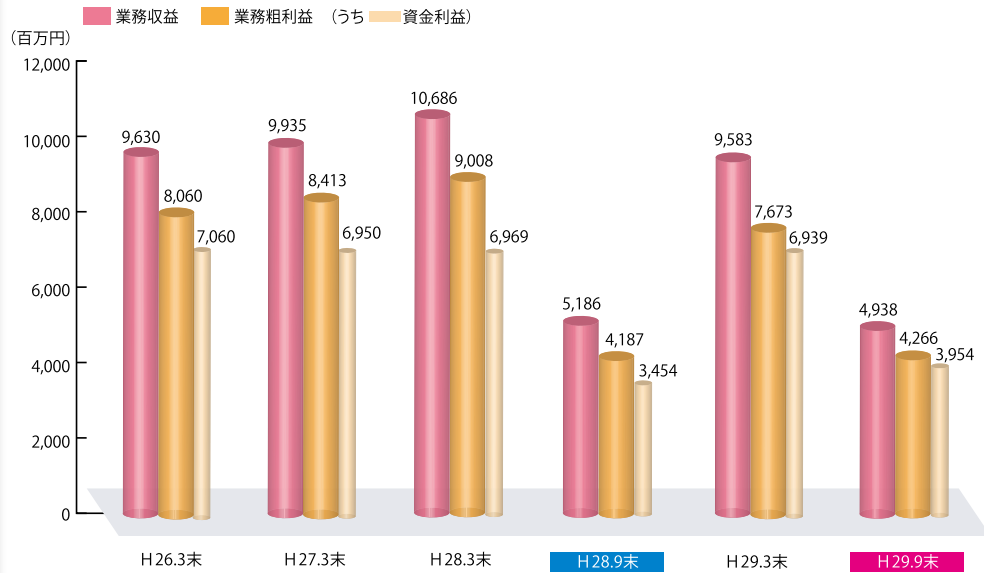
〈貸出金と預貸率〉



〈貸出金の業種別構成比の推移〉



〈業務収益、業務粗利益(うち資金利益)〉

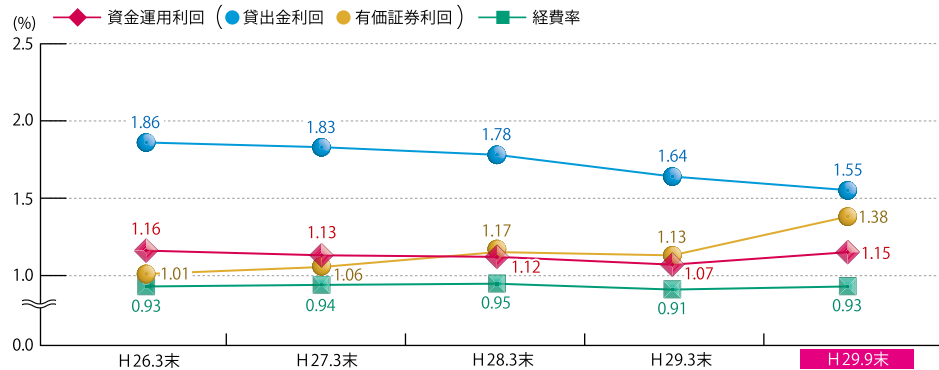


一般企業の売上に当たる業務収益(貸出金利息収入、有価証券等運用収入、役務取引収入等)は、有価証券売却益を抑えたため前年同月に比べて247百万円の減収となりました。

業務粗利益(業務収益－預金利息等の原価)は、業務収益が減ったものの低金利が続くなか、その他業務費用の減少により前年同月に比べて79百万円の増益となりました。

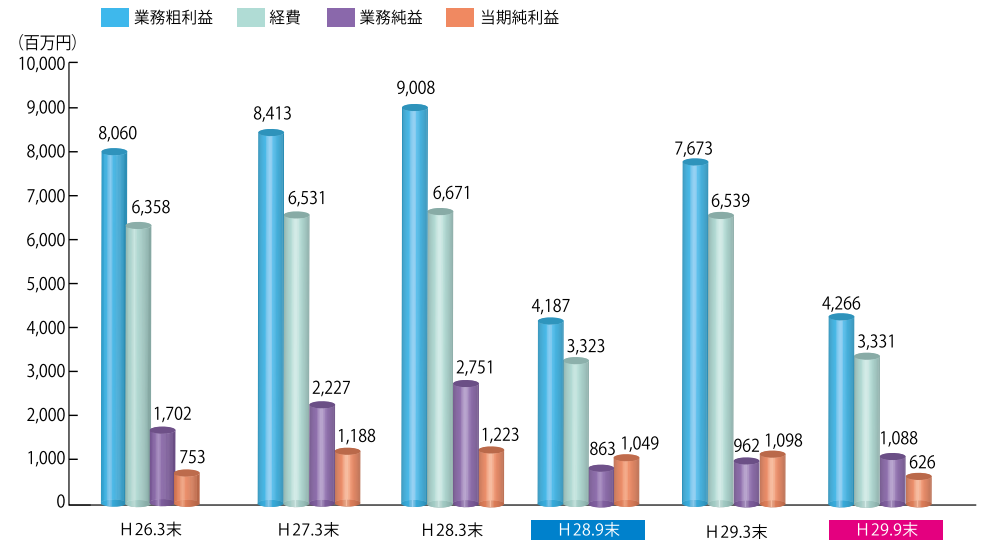
資金利益(貸出金及び有価証券等の運用から発生する利益－預金支払利息)は、有価証券利息配当金の増加及び預金利息の減少などによって前年同月に比べて500百万円の増益となりました。

〈資金運用利回(貸出金利回+有価証券利回)、預金利回、経費率、利ざや〉



〈業務粗利益、経費、業務純益(業務粗利益－経費等)、当期純利益〉

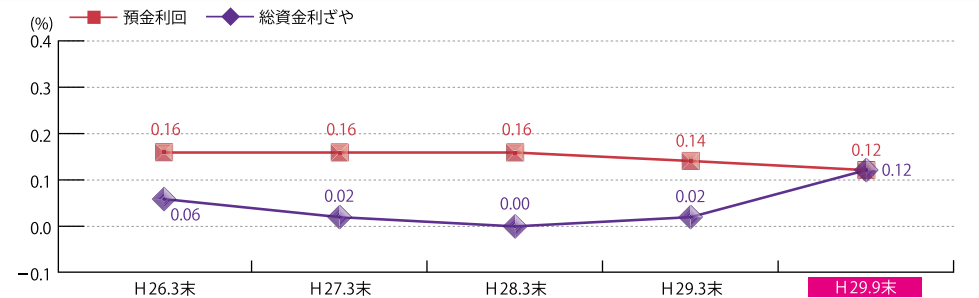
[参考]業務粗利益－(経費＋一般貸倒引当金繰入額)＝業務純益



経費は大きな変化はなく3,331百万円となりました。

業務純益は、経費が微増したものの業務粗利益の増益に加え、一般貸倒引当金の戻入れが154百万円あったため、前年同月に比べて225百万円増加の1,088百万円となりました。

当期純利益は、株式等売却益などの増加がありましたが個別貸倒引当金繰入額、法人税等が増加したことにより、前年同月に比べて422百万円減少の626百万円となりました。

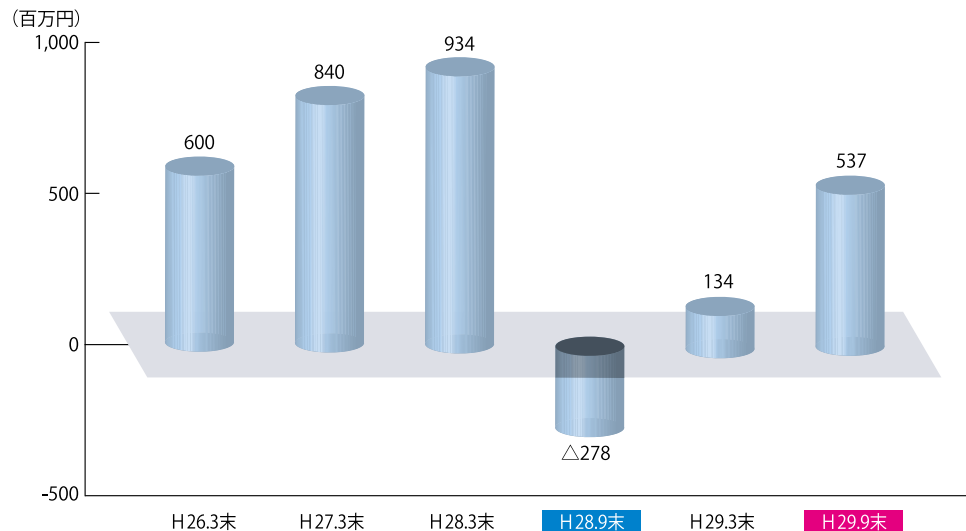


資金運用利回は、市場金利の低下に伴い貸出金利回が低下しましたが、有価証券利回が上昇したことで1.15%と改善しました。

総資金利ざやは、資金運用利回が改善し預金利回が低下したことから0.12%となりました。一層、収益力の向上に努めてまいります。

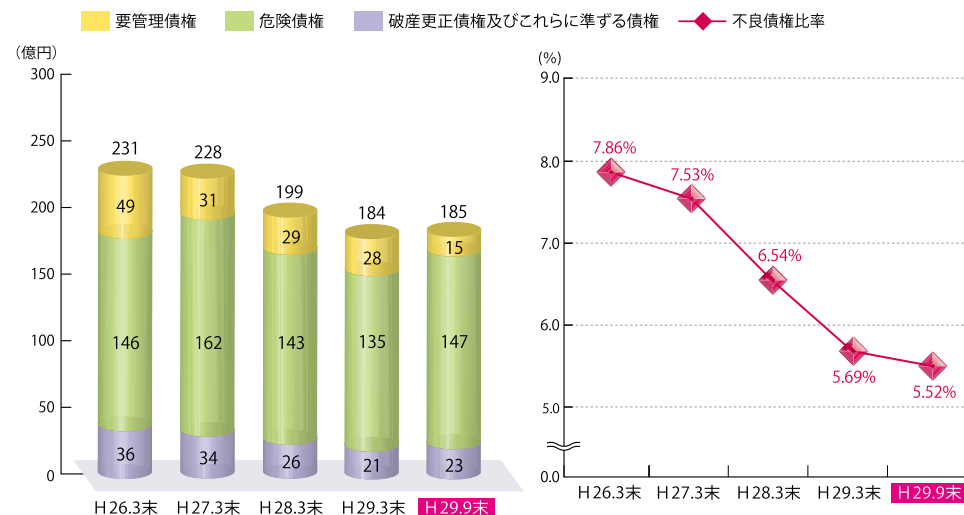
〈貸出金にかかる不良債権処理費用等〉

*不良債権処理費用(債権償却額、債権売却損、貸倒引当金純繰入額等の合計)



平成29年9月末の不良債権処理費用等は537百万円となります。これは、債権の分類を見直し要管理債権を危険債権にすることにより、損失見込額を積極的に引当したものです。今後、さらに貸出債権の不良化を防ぐため、経営改善支援や融資審査力を高めるなど全力で取組むと同時に将来のために引当も十分に行ってまいります。

〈不良債権(金融再生法上の開示債権)の内訳と不良債権比率〉

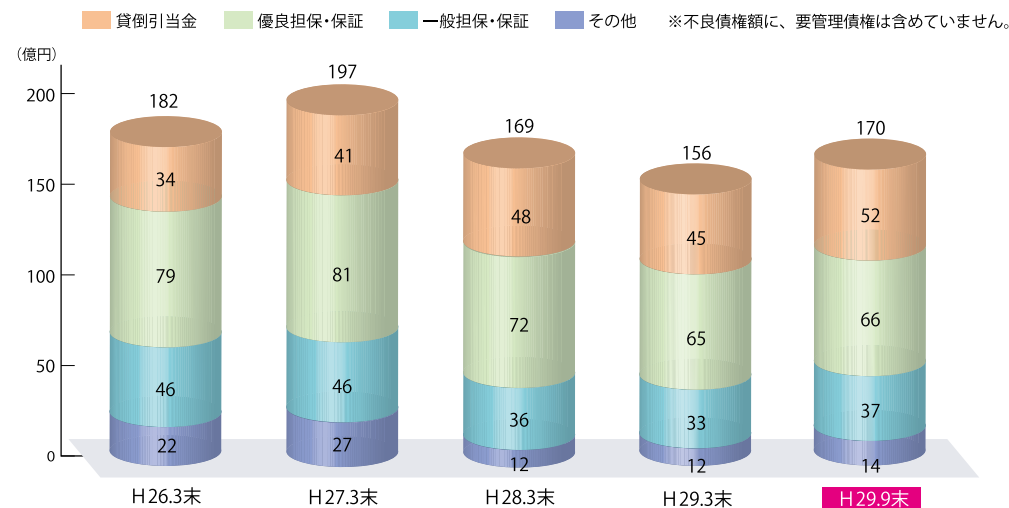


不良債権は、要管理債権、危険債権及び破産更生等債権に分類されます。平成29年9月末の不良債権残高は185億円となり、平成29年3月末に比べて1億円増加しました。不良債権比率は5.52%と低下しました。これは、積極的な融資の取組みにより、貸出金が増加したことによるものです。これからもお客様と一体となって経営改善にも取組んでまいります。

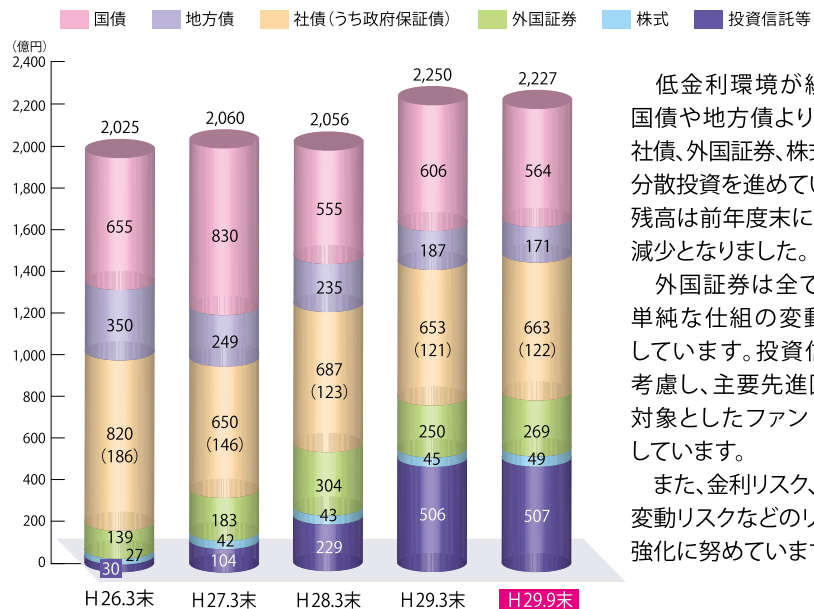
〈不良債権(要管理債権を除く)の保全状況〉

平成29年9月末の不良債権(要管理債権を除く)は、170億円あります。その保全状況は右の通りです。

貸倒引当金は52億円積んでおり、会計上は損失処理済です。優良担保・保証(保証協会保証等)で保全されている額が66億円。一般担保(土地・建物等)・保証で保全されている額が37億円。合わせて103億円は、回収が確実であると見込んでいる額です。残りの14億円は、これまでの回収実績等から見て回収可能と見込まれる額です。



〈有価証券の種類別保有状況(平成29年9月30日現在)〉

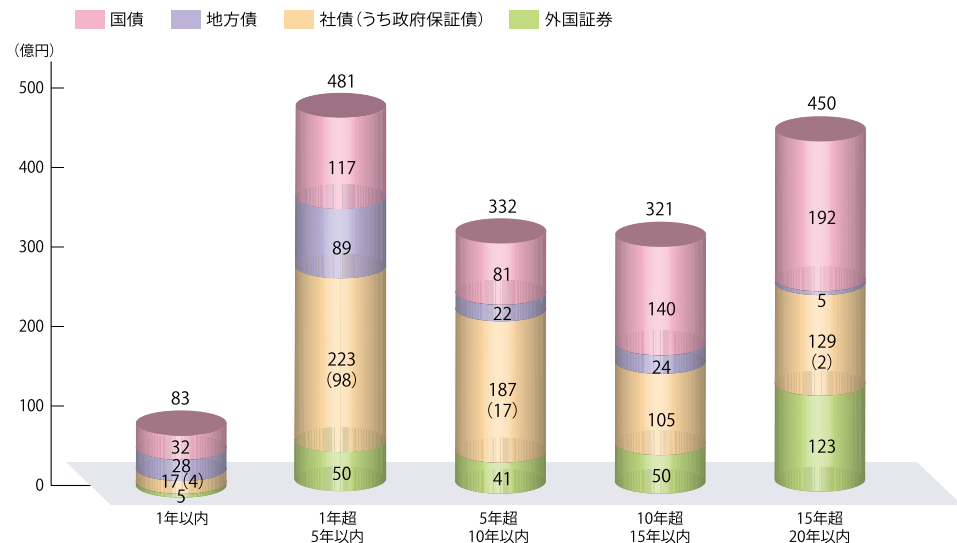


低金利環境が続いているため、国債や地方債よりも利回りの高い社債、外国証券、株式、投資信託への分散投資を進めています。有価証券残高は前年度末に比べて23億円の減少となりました。

外国証券は全て円建てで、主に単純な仕組の変動利付債で運用しています。投資信託は安全性を考慮し、主要先進国の国債を投資対象としたファンドを中心に運用しています。

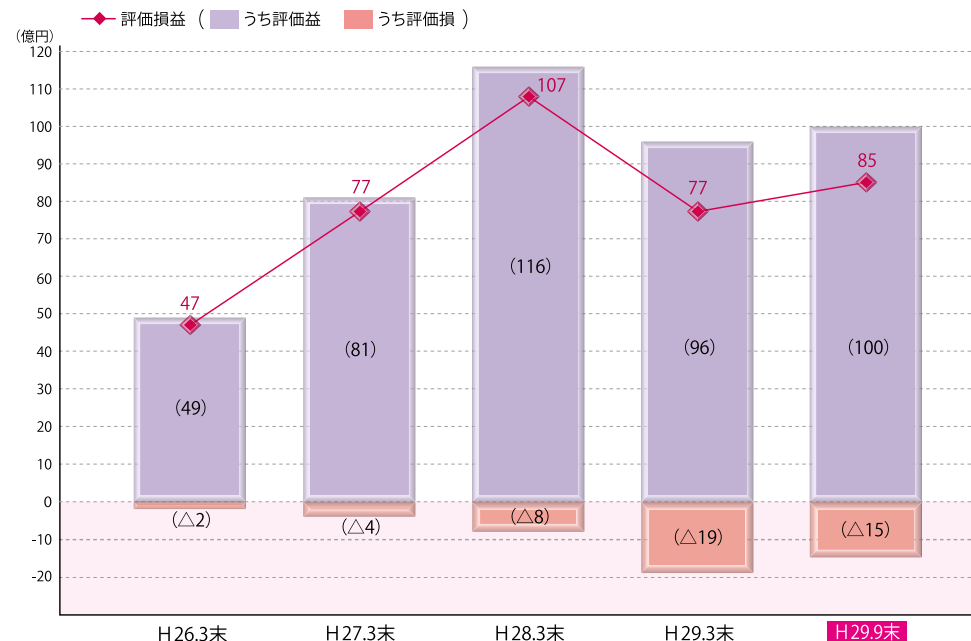
また、金利リスク、為替リスク、価格変動リスクなどのリスク管理態勢の強化に努めています。

〈債券[償還までの期間別に見た残高](平成29年9月30日現在)〉



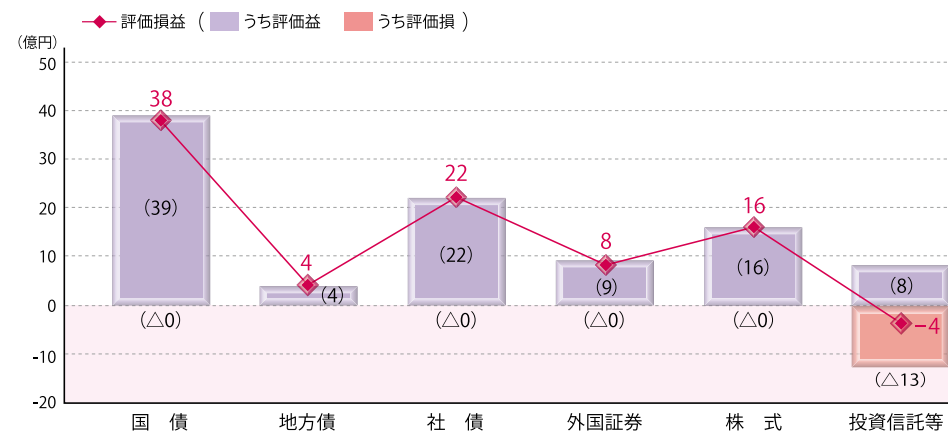
有価証券のうち株式及び投資信託等を除いた債券について、その償還までの期間別に保有残高を示したグラフです。収益向上ため、期間10年超20年以内の国債、地方債、社債、外国証券にも投資しています。なお、期間20年超の債券への投資は行なっていません。

〈有価証券の評価損益の推移〉



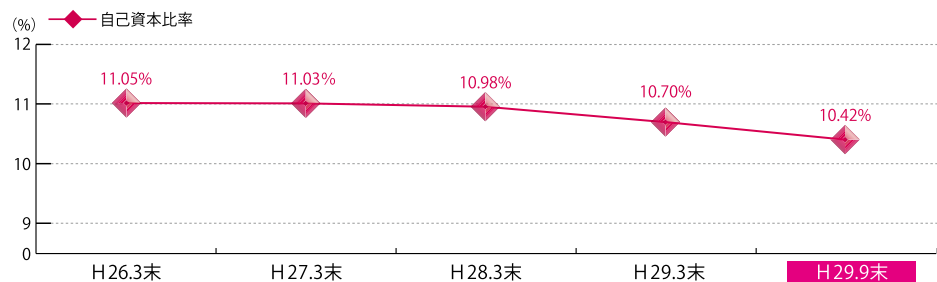
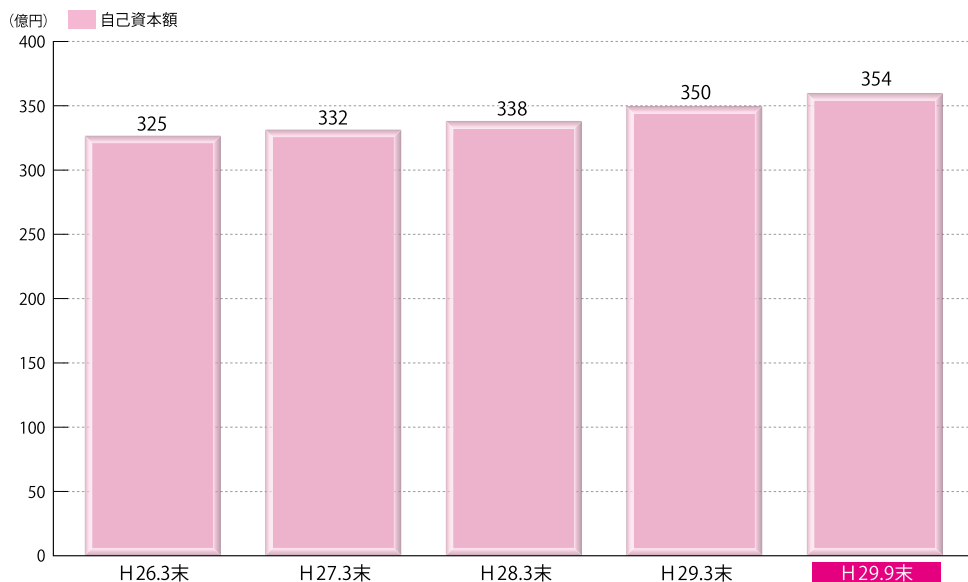
平成29年9月末現在の有価証券の評価益は100億円、評価損は15億円です。有価証券全体で差引85億円の評価益となっています。

〈有価証券の種類別の評価損益(平成29年9月30日現在)〉



平成29年9月末現在の有価証券の種類別評価損益を示したグラフです。投資信託等は欧米の金利が上昇したことで、主要先進国の国債を投資対象とした銘柄について評価損が発生しています。投資信託等以外の有価証券では評価損は少なく、評価損益はプラスとなっています。

〈自己資本と自己資本比率(信用金庫単体)〉



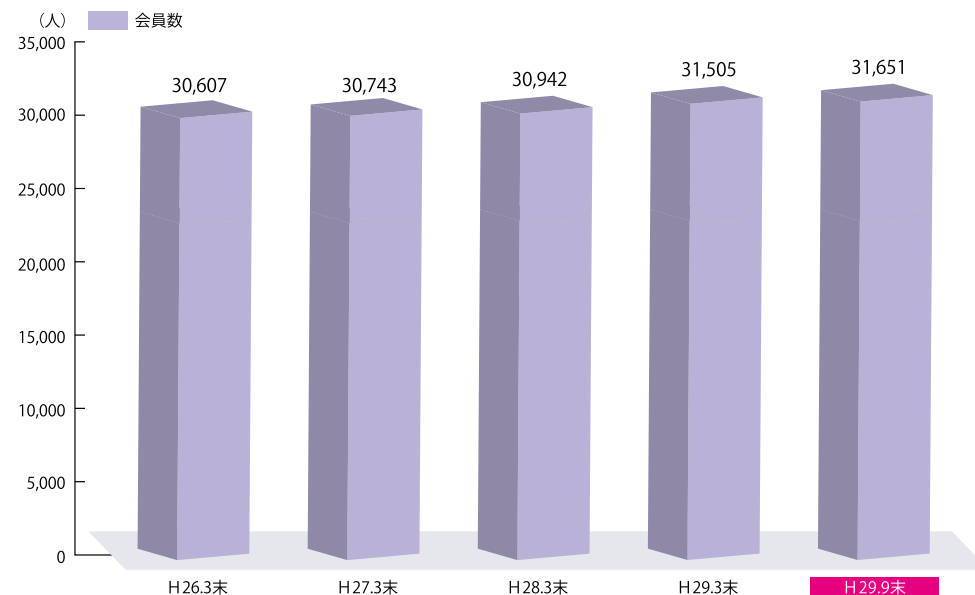
	(億円)				
	H26.3末	H27.3末	H28.3末	H29.3末	H29.9末
リスクアセット	2,946	3,011	3,082	3,271	3,399

自己資本比率は、平成29年9月末で10.42%となりました。自己資本の額が増加したものの、貸出金を増加させたことなどによってリスクアセットの額が増加し、自己資本比率は低下しました。

当金庫の自己資本比率は国内基準である4%を大きく上回り、経営の健全性、安全性を十分に堅持していると考えています。

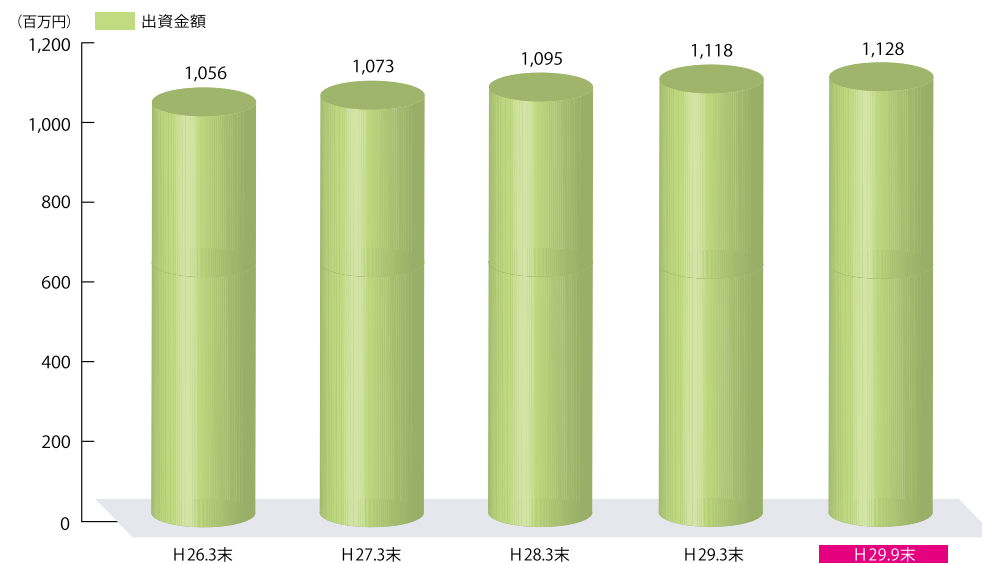
これからも、事業活動を通じて得る収益によって自己資本の充実を図ってまいります。

〈会員数〉



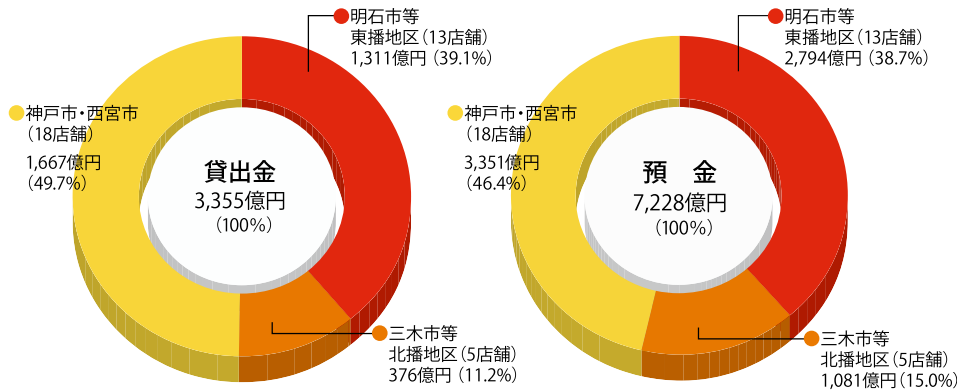
新規融資先の増加により会員数が増加しています。

〈出資金額〉

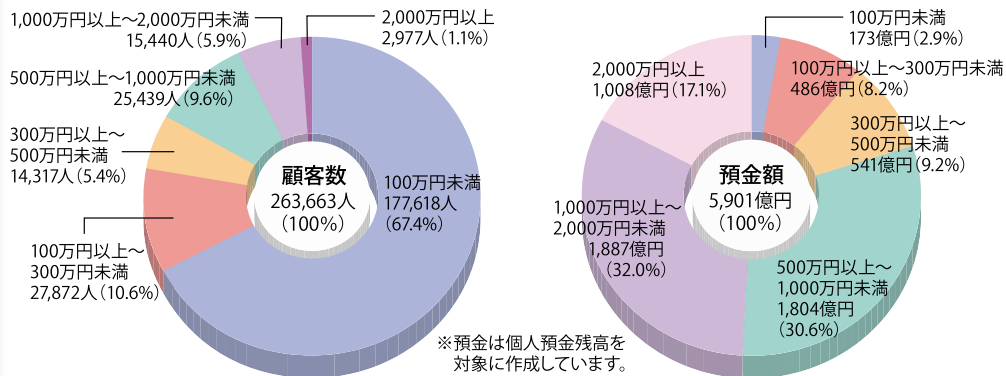


会員数の増加に伴い、出資金額も増加しています。

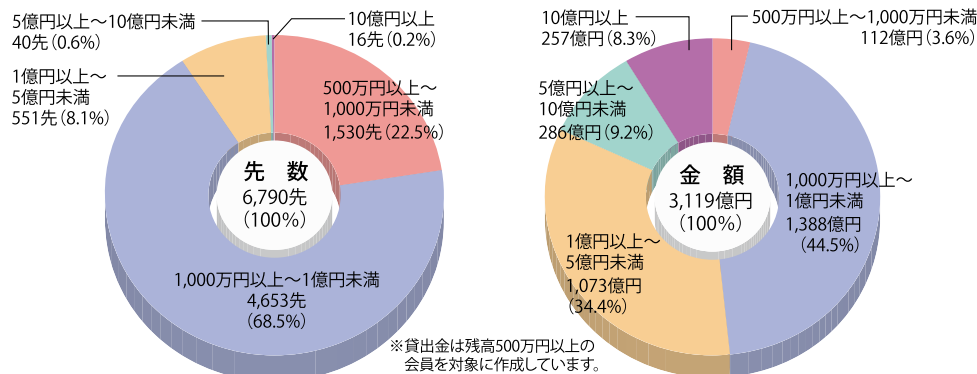
〈貸出金・預金の地域別構成〉 (平成29年9月30日現在)



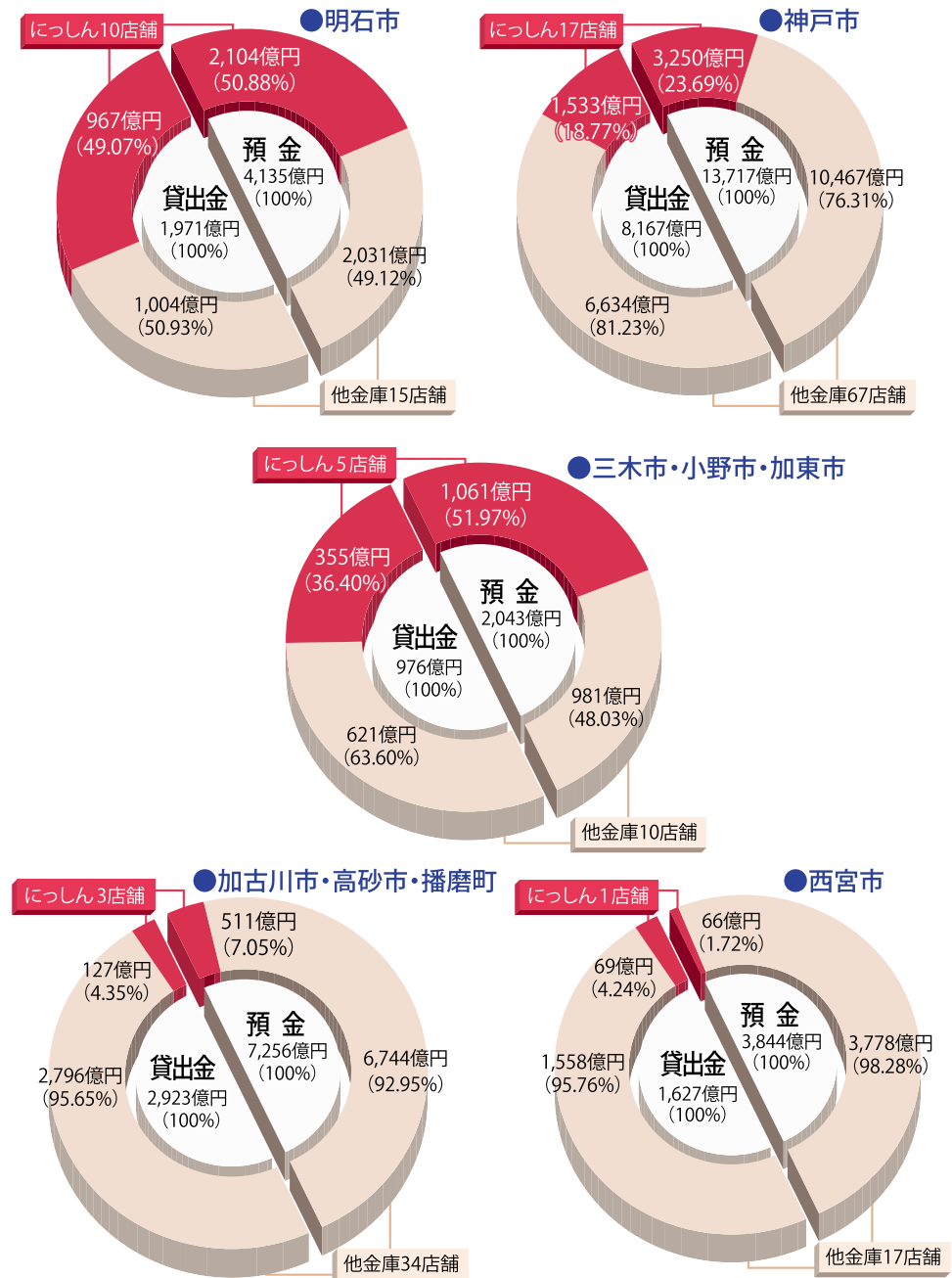
〈預金者のプロフィール〉〈個人預金の残高階層別みた顧客数と預金額〉 (平成29年9月30日現在)



〈貸出先のプロフィール〉〈貸出金の残高階層別みた先数と金額〉 (平成29年9月30日現在)



〈信用金庫の中での〈にっしん〉のシェア〉 (平成29年3月31日現在)



1. 資産・負債等の状況

(単位:百万円)

資産の部	平成28年9月末	平成29年9月末	前年同期比
現金・預け金	221,682	235,818	14,136
コールローン	—	—	—
有価証券	223,239	222,717	△ 521
貸出金	320,401	335,533	15,132
事業性貸出金	262,221	274,914	12,693
貸倒引当金	△ 5,260	△ 5,985	△ 725
うち個別貸倒引当金	△ 4,526	△ 5,252	△ 726
資産の部合計	771,427	799,182	27,755

(単位:百万円)

負債及び純資産の部	平成28年9月末	平成29年9月末	前年同期比
預金・積金	722,729	722,817	88
個人預金	596,983	590,382	△ 6,601
借入金	—	28,800	28,800
負債の部合計	730,107	758,528	28,421
出資金	1,105	1,128	22
利益剰余金	33,305	33,938	632
その他有価証券評価差額金	6,908	5,587	△ 1,321
純資産の部合計	41,319	40,653	△ 665
負債及び純資産の部	771,427	799,182	27,755

2. 損益の状況

(単位:百万円)

項 目	平成28年9月末 (平成28年4月1日～9月30日)	平成29年9月末 (平成29年4月1日～9月30日)	前 年 同 期 比
業務粗利益……………②	4,187	4,266	79
うち資金利益	3,454	3,954	500
うち役員取引等利益	172	149	△ 23
うちその他業務利益	559	162	△ 397
一般貸倒引当金繰入額③	—	△ 154	△ 154
経費……………④	3,323	3,331	8
業務純益……………①	863	1,088	225
実質業務純益……………⑤	863	934	71
臨時損益……………⑦	430	△ 61	△ 492
うち不良債権処理額	—	691	691
うち株式関係損益	119	627	507
経常利益……………⑥	1,293	1,026	△ 266
特別損益	8	0	△ 7
税引前当期純利益……………⑨	1,302	1,027	△ 274
当期純利益……………⑧	1,049	626	△ 422

■主な項目の計算方法

- ①業務純益 = ②業務粗利益 - ③一般貸倒引当金繰入額 - ④経費
 ⑤実質業務純益 = ①業務純益 + ③一般貸倒引当金繰入額
 ⑥経常利益 = ①業務純益 + ⑦臨時損益
 ⑧当期純利益 = ⑨税引前当期純利益 - 法人税等合計

3. 業種別貸出金の状況

(単位:百万円、%)

内 訳	平成28年9月末		平成29年9月末		前 年 同 期 比
	残高	構成比	残高	構成比	
製造業	43,812	13.7%	44,942	13.4%	1,130
農業・林業	45	0.0%	68	0.0%	23
漁業	186	0.1%	16	0.0%	△ 170
鉱業・採石業・砂利採取業	0	0.0%	0	0.0%	0
建設業	28,353	8.8%	30,247	9.0%	1,894
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	1,267	0.4%	1,349	0.4%	82
運輸業・郵便業	12,169	3.8%	13,383	4.0%	1,214
卸売業・小売業	40,677	12.7%	42,202	12.6%	1,525
金融業・保険業	13,303	4.2%	12,586	3.8%	△ 717
不動産業	66,214	20.7%	70,717	21.0%	4,503
物品賃貸業	1,516	0.5%	3,006	0.9%	1,490
学術研究・専門・技術サービス業	1,519	0.5%	1,613	0.5%	94
宿泊業	1,852	0.6%	2,450	0.7%	598
飲食業	5,754	1.8%	7,242	2.2%	1,488
生活関連サービス業・娯楽業	4,637	1.4%	3,584	1.1%	△ 1,053
教育・学習支援業	2,205	0.7%	980	0.3%	△ 1,225
医療・福祉	27,061	8.4%	26,642	7.9%	△ 419
その他のサービス	11,644	3.6%	13,878	4.1%	2,234
小 計	262,221	81.8%	274,914	81.9%	12,693
地方公共団体	9,433	2.9%	8,580	2.6%	△ 853
個人(住宅・消費・納税資金等)	48,746	15.2%	52,037	15.5%	3,291
合 計	320,401	100.0%	335,533	100.0%	15,132

4. 有価証券の状況

有価証券の時価情報

(単位:百万円)

内 訳	平成28年9月末				平成29年9月末			
	時価	評価損益	うち益	うち損	時価	評価損益	うち益	うち損
その他有価証券	202,756	9,567	10,919	1,352	202,742	7,734	9,270	1,536
国 債	45,327	4,427	4,427	—	45,600	3,378	3,437	59
地方債	21,428	652	652	—	17,155	423	423	—
社 債	66,550	2,668	2,820	151	66,377	2,207	2,274	67
うち 政府保証債	12,414	492	492	0	12,221	320	321	1
うち 公社公団債	7,623	641	642	0	6,459	506	506	—
うち 金融債	2,703	3	3	—	—	—	—	—
うち 事業債	43,809	1,530	1,681	150	47,696	1,381	1,446	65
外国証券	15,053	△ 83	409	493	17,875	546	613	67
株 式	3,941	1,291	1,352	61	4,960	1,639	1,642	2
うち子会社・関連会社株式	139	—	—	—	149	—	—	—
投資信託	50,384	593	1,239	646	50,705	△ 477	861	1,339
その他	70	16	16	—	67	17	17	—
満期保有目的の債券	21,438	955	995	39	20,751	776	792	16
国 債	11,576	717	717	—	11,359	504	504	—
外国証券	9,861	238	278	39	9,391	271	287	16
売買目的有価証券	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 評価損益は、9月末の帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価の差額を計上しています。

※ 時価は9月末の市場価格等に基づいています。なお、子会社・関連会社株式、非上場株式、組合出資金については市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから当該帳簿価格を時価としています。

5. 決算の状況

(単位:百万円)

項 目	平成28年9月末	平成29年9月末
業 務 純 益	863	1,088
経 常 利 益	1,293	1,026
コア業務純益	323	789
当期純利益	1,049	626

6. 自己資本の状況

単体自己資本比率

(単位:百万円)

(単位:百万円)

項 目	平成28年9月末	項 目	平成29年9月末
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額 (A)	34,410	普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額 (A)	35,066
うち出資金及び資本剰余金の額	1,105	うち出資金及び資本剰余金の額	1,128
うち利益剰余金の額	33,305	うち利益剰余金の額	33,938
うち外部流出予定額(△)	—	うち外部流出予定額(△)	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 (B)	772	コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 (B)	770
うち一般貸倒引当金コア資本算入額	772	うち一般貸倒引当金コア資本算入額	770
コア資本に係る基礎項目の額(A+B) … (C)	35,183	コア資本に係る基礎項目の額(A+B) … (C)	35,836
コア資本に係る調整項目の額 …… (D)	326	コア資本に係る調整項目の額 …… (D)	396
自己資本の額(C-D) …… (E)	34,857	自己資本の額(C-D) …… (E)	35,439
リスク・アセット等の額の合計額 …… (F)	322,010	リスク・アセット等の額の合計額 …… (F)	339,901
単体自己資本比率(E)/(F)	10.82%	単体自己資本比率(E)/(F)	10.42%

(注)自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出を行っています。なお、当金庫は国内基準を採用しています。

自己資本の質の向上を図るため、2014年3月のパーゼルIII適用により、これまでの補完的資本とされていた劣後債や劣後ローン等を外し、出資金、利益剰余金、一般貸倒引当金などの合計から調整項目を控除したものが「コア資本」と定義されました。

7. 自己資本の構成(単体)

(単位:百万円)

項 目	平成28年9月末	経過措置による不算入額	平成29年9月末	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目(1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	34,410		35,066	
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,105		1,128	
うち、利益剰余金の額	33,305		33,938	
うち、外部流出予定額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	772		770	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	772		770	
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	35,183		35,836	
コア資本に係る調整項目(2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)の額の合計額	176	117	190	47
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	176	117	190	47
前払年金費用の額	150	100	206	51
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	326		396	
自己資本				
自己資本の額(イ)-(ロ)=(ハ)	34,857		35,439	
リスク・アセット等(3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	307,805		325,833	
資産(オン・バランス)項目	306,815		325,056	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 6,161		△ 5,078	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)	117		47	
うち、前払年金費用	100		51	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 6,378		△ 5,178	
オフ・バランス取引等項目	767		609	
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	223		167	
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	14,204		14,068	
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	322,010		339,901	
自己資本比率((ハ)/(ニ))	10.82%		10.42%	

●オペレーショナル・リスク「基礎的手法」の算出方法

粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)×15%
直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数 ÷ 8%

8. 不良債権の状況

金融再生法開示債権残高

(単位:百万円)

区 分	平成28年9月末(A)	平成29年9月末(A)	前年同期比
	債権額	債権額	
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	2,203	2,331	128
危険債権	12,956	14,712	1,756
要管理債権	3,077	1,542	△ 1,535
不良債権合計	18,237	18,586	349
正常債権	303,361	318,129	14,768
合 計	321,599	336,715	15,116
不良債権比率	5.671%	5.520%	△ 0.151%

保全状況(平成29年9月末)

(単位:百万円)

区 分	担保・保証額(B)	担保・保証のない部分(C)=(A)-(B)	引当額(D)	(C)に対する引当率(D)/(C)	保金額(E)=(B)+(D)	保全率(E)/(A)
	破産更正債権及びこれらに準ずる債権	1,360	971	971	100.00%	2,331
危険債権	9,030	5,682	4,261	75.00%	13,291	90.34%
要管理債権	665	877	186	21.21%	851	55.19%
不良債権合計	11,055	7,530	5,418	71.95%	16,473	88.63%

■本誌では、単位未満を切り捨てて表示しています。したがって、項目ごとを加減算した場合、合計欄および増減欄の数値と一致しない場合があります。
■本誌に掲載している数値については、会計監査人による監査を受けていません。

店舗一覽

明石市中央部	本明石丸崎	店	明石市本町2-3-20	078(912)4567	
	駅前支店	支店	明石市桜町11-14	078(911)8181	
	丸崎支店	支店	明石市大蔵天神町4-7	078(912)0337	
	林崎支店	支店	明石市林崎町1-4-20	078(922)7431	
明石市西部	西市大久井江二	明石市場久保ヶ島二見	支店	明石市西明石南町2-14-7	078(923)1101
		支店	明石市藤江2029-1	078(921)3020	
		支店	明石市大久保町駅前2-1-7	078(936)2165	
		支店	明石市大久保町江井島835-1	078(946)0623	
		支店	明石市魚住町錦が丘1-12-1	078(947)6799	
	支店	明石市二見町東二見887-1	078(942)1221		
加古川市・高砂市・播磨町	加古川支店	支店	加古川市加古川町寺家町311-3 (平成29年12月11日より下記仮店舗にて営業) 加古川市加古川町寺家町308-1	079(422)6066	
	宝本殿莊支店	支店	高砂市神爪1-10-2	079(432)8711	
		支店	加古郡播磨町南野添1-2-1	079(435)3270	
三木市・小野市・加東市	三緑小滝	支店	三木市大村63-9	0794(82)5211	
	木が丘支店	支店	三木市緑が丘町東2-9-1	0794(84)1231	
	野神野支店	支店	小野市上本町237-2	0794(63)1135	
		支店	加東市天神492	0795(47)1011	
		支店	加東市上滝野2413	0795(48)2010	
神戸市東部	本魚六西	支店	神戸市東灘区田中町3-3-3	078(431)1061	
	山崎甲支店	支店	神戸市東灘区魚崎南町7-7-7	078(411)3281	
	西灘支店	支店	神戸市灘区桜口町3-1-1-107	078(841)0141	
		支店	神戸市灘区岸地通4-4-15	078(802)1431	
神戸市中央部	神戸宇兵平坂	支店	神戸市中央区小野柄通5-1-16	078(231)2731	
	栄治川支店	支店	神戸市中央区下山手通3-1-13	078(391)0222	
	兵庫野宿支店	支店	神戸市中央区北長狭通7-3-5	078(341)4502	
		支店	神戸市兵庫区浜崎通3-22	078(671)3443	
		支店	神戸市兵庫区上祇園町4-4	078(361)0411	
		支店	神戸市須磨区前池町3-4-1	078(735)6001	
神戸市北部	鈴ひよどり藤原台支店	支店	神戸市北区鈴蘭台北町1-9-20	078(591)1221	
		支店	神戸市北区ひよどり台2-1-2	078(743)1621	
		支店	神戸市北区有野中町1-9-14	078(982)2489	
神戸市西部	垂舞伊玉	支店	神戸市垂水区神田町3-10	078(706)2222	
	水子支店	支店	神戸市垂水区西舞子2-14-21	078(784)8171	
	伊川谷支店	支店	神戸市西区池上2-21-8	078(975)0571	
	玉津支店	支店	神戸市西区王塚台7-96-1	078(928)6110	
西宮市	西宮今津支店	支店	西宮市今津出在家町1-6	0798(31)2489	



日新信用金庫

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク

0120-15-2489

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで

URL <http://www.nisshin-shinkin.co.jp/>